

圧送ポンプの仕様

電源	AC100V (50 Hz: 860 W、60 Hz: 980 W)
電源コード長	1.5m (電源プラグ: アース付き3Pプラグ)
出力	最高揚程: 7m、最大処理量: 110L/分
重量	10kg
受入最高温度	35℃

使用上の注意

使用上の注意

1 トイレトペーパー以外は絶対に流さないでください。
便器洗浄シート、ティッシュペーパー、固い紙・新聞紙、雑誌等は
水に溶けにくく排水管が詰まる原因となりますので、使用しないで
ください。また、生理用品等も便器に捨てないでください。

2 排水温度は35℃以下で使用してください。
ポンプ作動不良、ケースの変形、ゴム部品の劣化による故障の原因となります。
35℃以上の排水を流したり、20分以上連続運転すると、ポンプのモーターが停止します。
その際はコンセントを抜き、30～40分放置後、再度コンセントを入れることで復旧します。
復旧後は、内部に溜っている汚水を自動排出されます。
停止状態では内部が満水状態となっています。排水を行うと通気口や蓋から漏水の恐れがあります。

3 掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、
ペンシン、シンナー類、うし殺し、殺虫剤、その他薬品は、
部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に
使用しないでください。

4 砂や小砂利等は流さないでください。
洗浄剤のキャップや組立式玩具の部品等を流さないでください。
輪ゴムを絶対に流さないでください。油類は流さないでください。

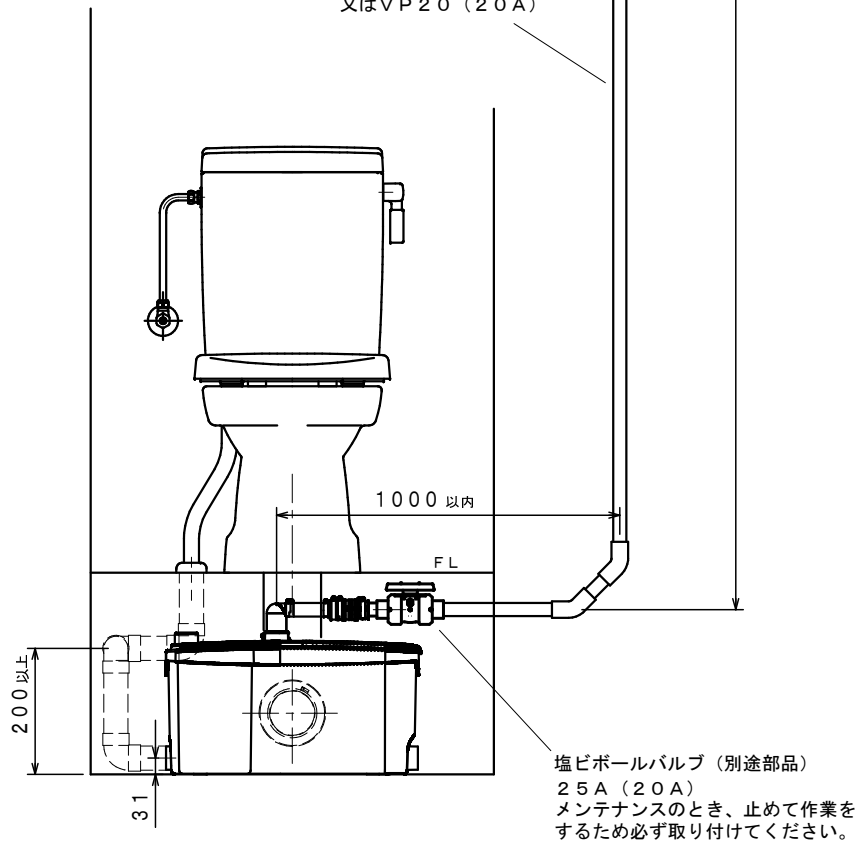
5 凍結の恐れがあるときは、凍結防止を行ってください。
排水配管VP25(VP20)は保温材を巻くなどしてください。

6 故障の70%以上が異物混入が原因です。異物混入には充分注意してください。

7 停電時、どこでも圧送ポンプが作動しません。
停電の間、用便後は水を流さず通電してから流してください。

8 どこでも2L便器は、洗浄水を流したとき、便器オーバーフローから少し水が流れることがあり
ますが、故障ではありません。

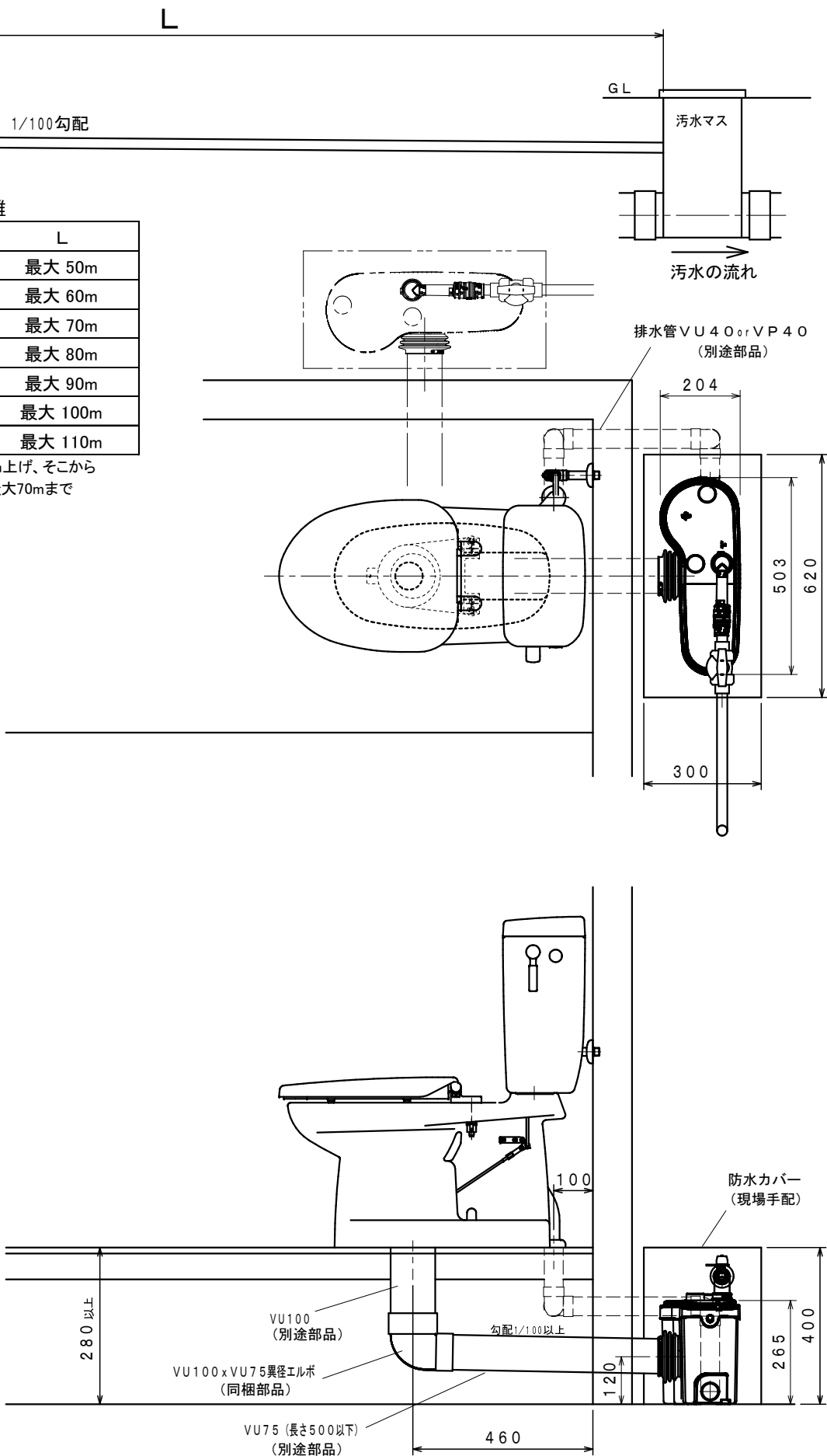
排水管VP25(25A)
又はVP20(20A)



上方、水平圧送距離

H	L
7m の時	最大 50m
6m の時	最大 60m
5m の時	最大 70m
4m の時	最大 80m
3m の時	最大 90m
2m の時	最大 100m
1m の時	最大 110m

(例) 圧送ポンプから5m上げ、そこから
横引きする場合最大70mまで



便槽、浄化槽、下水道へ接続

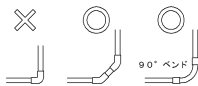
汚水の流れ

施工上の注意

1 接続できる排水は、トイレ、洗面化粧台や手洗器、ユニットシャワー、洗濯機の排水です。
台所排水を流すと、油分が多いため故障の原因となります。
浴室排水を流すと、大量の排水でどこでも圧送ポンプが連続運転となり温度が上昇しポンプが停止
するため流さないでください。

2 どこでも圧送ポンプから排水先の便槽・合併槽・下水道までの排水配管

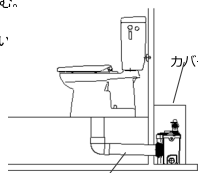
- 排水配管の口径: VP25(25A) VP20(20A)も使用可能
内径がφ20～25の内面がなめらかなホースでも使用可。
しかし、ホースが動かないように固定をしてください。
内径がφ20以下のVP13などを使用すると詰まるため絶対に使用しないでください。
内径がφ25以上のVP30、VP40・・・などを使用すると圧送する圧力が低下して詰まるため
絶対に使用しないでください。
継手を含む排水配管内の径は、φ20～25を必ず確保してください。
- 排水配管の距離は、「上方、水平搬送距離」の範囲で行ってください。
- 排水配管VP25 (VP20) の曲りに90度エルボ使用不可
45度エルボを2個使用して曲けてください。
- 排水配管の曲り1箇所につき、0.5m圧送距離が短くなります。
- 排水配管は、土中埋設・露出配管できます。
露出配管のとき、凍結防止として保温材を巻くなど対策を行ってください。
- 10m以上の排水配管は、10m間隔で排除口を設けてください。
排除口は、下記の2通りから選んでください。
・TSチーズ継手にツマミ式VP管用排除口を付ける。
・TS給水チーズ継手にステンレスのメクラプラグをシールテープを巻いてねじ込む。



3 便器からどこでも圧送ポンプまでの横引き配管の長さは、500mm以内にしてください
その勾配は、1/100以上確保してください。
詰りや配管内のエアが抜けない原因になります。

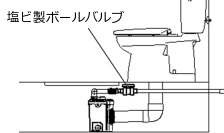
4 どこでも圧送ポンプを屋外に設置する場合

- 直射日光に当たらないようにしてください。
- 雨に濡れたり、凍結の恐れがある場合は、カバーで囲ってください。
カバーはメンテナンスで取り外しができるようにしてください。
- ポンプの運転音が近所に迷惑なときは、カバーで防音してください。

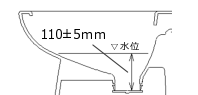


5 どこでも圧送ポンプは、メンテナンスできるように設置してください。
誤って流してはいけない物を流したりして詰った場合、
どこでも圧送ポンプをメンテナンスする必要があります。
どこでも圧送ポンプは、取り出せるように設置してください。
排水配管の圧送ポンプから出たところ止水できるボールバルブ
を付けてください。

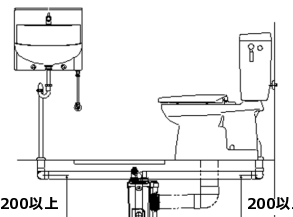
横引き: 500mm以内
勾配: 1/100以上



6 どこでも2L便器の洗浄水量を確認してください。
ロッド接続しない状態で1回のレバー操作をしたとき、ボール面に
溜まる水位が110mm±5mmになっているか確認してください。
ロータンクの水位が低いと洗浄水量が少なくボール面に溜まる
水位も低くなります。
ロータンクの水位を確認してください。



7 雑排水流入口からの配管40Aと手洗器やオーバーフロー配管
などを接続するとき、接続部高さを200mm以上にしてください。
200mm以下になると、排水が悪くなり、詰りの原因になります。
どこでも2L便器を設置して便槽に溜める場合、オーバーフロー
や手洗の排水を圧送ポンプに接続して便槽に入れると、器具が
故障して水が止まらなくなったり、便槽が直ぐに一杯になります。
そのときは、圧送ポンプに接続せず、一般的な簡易水洗便器と
同じようにオーバーフローや手洗の排水は屋外の側溝などの
流してください。



8 どこでも2L便器は、洗浄水を流したとき、便器オーバーフロー
から少し水が流れることがありますが、故障ではありません。

200以上

便器	どこでも2L便器 FS502-N07
圧送ポンプ	どこでも圧送ポンプ DAP-B